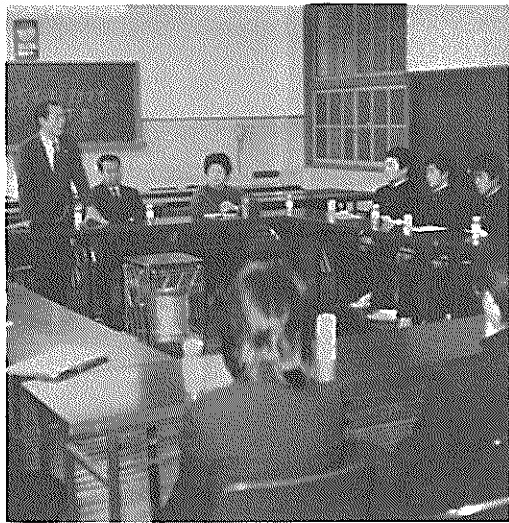


若高生ホソネとタテマエ

生徒会とPTAとでより良い方向を模索



若松高校生活の本音と建前を話し合い、より良い学校生活にするための会が二月六日午後開かれた。

これは、生徒とPTA成人教育委員会の共催で開かれたもので三回目であり、生徒会新旧役員と父兄など二十五人が出席し、いろいろな問題に対しての意見や要望を語り合った。以下は、その主な内容。

①挨拶を交わそう

生徒会からは、自分たちが用事で学校も中心になって挨拶するよ

いながら、皆の協力がないと出来ないという。皆に協力してもらい少しづつ挨拶できるようにしたいと

②若松駅の清掃奉仕

これまでは青葉ヶ丘女子高がしていたが、同校が移転したため若松駅を利用するのはほとんど若高生になったので月に二回ぐらい土曜の放課後に生徒会やインターアクトの協力で行う。しかし、それは自主的にやるべきで、強制的で自主性が無い。どうすれば、自主的にやってくれる人が集まるだろうか。校長は、これに対して学校内で掃除をしないのに駅を掃除する人が集まるはずがないので余り期待をしないでいいと言った。

③食堂の混雑

食券売り場で食券を買うとき、ものすごく混雑する。存在しないのである。そのうしろ意図の裏には「使い捨て時代・物質超過の時代」という時流があらわれているのである。またこうした時代の風潮が「物質文明の弊害」といわれる病気を生みだしている。いわれる物質的に富んだ精神的貧困の人間集団形成である。こうした中で、盗み癖(まさに癖)を減らさなければならないことであろう。それには「盗む」悪いことを彼らに教える必要があるのである。学

④学校での盗難防止対策

最近、学校での盗難やロッカーの悪戯が目立っている。教科書を取られて困っている生徒も少なくない。ロッカーや机の中に教科書などを置いて帰るので、こ

⑤バスや汽車の車内の態度

車内で大声で話したり物を食べたりして、他人に迷惑をかけている。このようなことが毎日続けば、他人たちから「若高の生徒は」となってしまう。これは、どうすればよいのだろうか。

⑥冷水機の破損

今、学校内にある冷水機は破損してたりして使えないものが多い。それに数少ない。夏などは、皆一台の冷水機にずらり並んでいる。待つ間に授業が始まる。数を増やすというところから考えれば、これは、大事に使うようにしないといけないのではないだろうか。

⑦文化祭を盛り上げる

今まで盛り上がりなかつた原因は、次に上げる二つではないだろうか。

第一の原因は、予算が少な

⑧文化祭を盛り上げる

第二の原因は、生徒のやる気である。これが無いと盛り上がりは当然である。それにテーマと内容が一致してないこともある。

⑨文化祭を盛り上げる

このような原因を解消しないことには、文化祭は盛り上がりえない。特に予算の問題を解決しないといけない。一時間半ぐらいこのような問題について議論した。しかし、問題が解決したのは、ほとんどない。

論 壇

罪の意識にめどめよ

―校内の盗難をなくそう―

「此比部ニハヤル物、夜討強盗謀略、召人早馬車騒動……」これは建武中興期の「二条河原の落書」であるが、若松高校の現状と相通する所があまりに多い。――「此比部ニテハヤル物、無断欠席遅刻ニ早退、無断外出盗難事件、バ

イマ頭下制服違反……」以上なかなかの件である。この中で盗難の件について論じてみたい。若松高校の諸君なら一度は経験するの

盗む者より盗まれた本人の管理不十分という矛盾極まりない事実がびこっている。確かに、ロッカー(下足ロッカーも含め)への罪の意識、悪いという意識は全くといってよいほど存在しないのである。そのうしろ意図の裏には「使い捨て時代・物質超過の時代」という時流があらわれているのである。またこうした時代の風潮が「物質文明の弊害」といわれる病気を生みだしている。いわれる物質的に富んだ精神的貧困の人間集団形成である。こうした中で、盗み癖(まさに癖)を減らさなければならないことであろう。それには「盗む」悪いことを彼らに教える必要があるのである。学



お前達は消えて行った古代文明の忘れ形見片手で包みこめるほどの陶片なのにずしりと来るほど重さの数百年の歴史の重さか

この青い陶片はシルクロードを通って来たあの薄緑の陶片は兵士と共に海を渡って来たさあ あなたたちの夢物語を聞かせておくれ

海草と絡み合って眠っている無数の老いたる陶片たちよ

詩

望郷の浜

二年五組 藤井寿美

海辺近くの小高い丘で石棺に囲まれた地蔵が一つ 潮鳴の音しか聞えない 人々からも海からも忘れられたこの土地で 一体だれが永遠の眠りについたらだろうか

物言わぬ石棺には打ちよせられた波よりも多くの笑いと涙がしみ込んでいるに違いない

古代の異邦人よ 数百の書物に勝るほどの物語りを あなたは持っているのだろうか 見知らぬ異国の砂浜で あなたが流した心の涙は 夜空を駆けて 遠い祖国へ届いたらどうか 潮騒に誘われて森を抜けると 冬の海が広がる 人気のない砂浜は 時が動かない 波打際打ちよせられた 波物の小さな陶片たち

志賀高原でスキー堪能

風邪患者も続出

二年生四二三人(男子二〇五名、女子二二八名)スキー修学旅行を楽しんだ。(写真は同スキー場)



昨夏から「サンデー毎日」が「日本にあったピラミッド?」の特集を始めて、若松や八幡の古老たちの「血倉山にピラミッド?」という証言が続出。その中で、磐座(いわくら)に類するものがあつた可能性は高い。として本校歴史クラブも近く調査を行う。しかし、「高射砲台設置で壊された。」の声もあり基部の石群でもあれば上々。

血倉山にピラミッド?

歴史クラブが近く探検

以来、全国的に古代巨石文化(プレヒストリ時代)への関心が高まっているが、地元若松や八幡の古老たちの「血倉山南西の権現岳や血倉山頂にも、戦前、ピラミッド状の石群があつた」という証言が続出。その中で、磐座(いわくら)に類するものがあつた可能性は高い。として本校歴史クラブも近く調査を行う。しかし、「高射砲台設置で壊された。」の声もあり基部の石群でもあれば上々。